

いわた 文化財だより 第164号

磐田市教育委員会教育部文化財課 平成30年11月1日発行

目次

- 速報 指定書交付式・磐田の大念仏を語る会・・・ P1～2
- 磐田の道標（第1回/全2回）・・・ P3
- 旧赤松家記念館で「かすりの着物で写真撮影」「昔の遊びを体験しよう」 P4
- コラム『気になる“点”』中根麻貴・・・ P4

速報 指定書交付式・磐田の大念仏を語る会

前号で「豊岡の大念仏」が、9月28日に磐田市の無形民俗文化財に指定されたことをご紹介しましたが、10月27日に大念仏の保存団体（大平組、大楽地組、合代島組、上神増組、壱貫地組、三家組、松之木嶋組）への指定書交付式がありました。



交付式終了後の「磐田の大念仏を語る会」では、大念仏を記録したDVDの視聴、各保存団体代表から、解説・説明がありました。また、磐田市文化財保護審議会 小杉達副会長による講演を聴講し、大念仏への理解を深めました。

交付式の様子

豊岡地区の各念仏組の代表に教育長が指定書を交付しました。

伝える決意～指定書交付式～

豊岡地区では大念仏への関心が高く、会場となった豊岡中央交流センターには100名を超える人が集まりました。指定書の交付式では、保存団体の皆さんの指定書を受け取る様子から、緊張感とともに伝統文化継承への新たな決意が伺えました。



DVDを視聴する聴講者

大念仏へのこだわり

DVDの視写会では加茂大念仏保存会も加わり、それぞれの保存団体が伝える大念仏の特徴を、経験豊富な代表者から手ぶりを交えて紹介されました。また、文化財保護審議会 中山正典委員からは「豊岡の大念仏」の解説がありました。

小杉達副会長の講演では、遠州大念仏が、地域の娯楽として遠州地域に広がっていく様子などをわかりやすく解説していただきました。



小杉達先生の講演の様子

ちょっとフレイク ちょっとお得な情報 ～遠州大念仏を自宅で鑑賞～

どうしても8月を待てない方へ

「8月の盆まで待てない」「どうしてもすぐ見たい」そのような方もいらっしゃるのでは・・・安心してください。自宅で大念仏を見ることができます。豊岡地区の遠州大念仏をDVDに編集しました。大念仏が伝わる地区の風土、大念仏の一連の所作などを分かりやすくまとめています。このDVDは市内の図書館や豊岡中央交流センター・豊岡東交流センターで借りることができます。



大念仏のDVD

ほかの民俗行事も見たい方へ

国指定無形民俗文化財『見付天神裸祭』と福田地区に伝わる『八王子神社 米とぎまつり』の映像もDVD化され、図書館で借りることができます。こちらもご利用ください。

さわりだけでも見たい方へ

磐田市ホームページで、3分程度に編集した動画を見ることができます。行事・所作を短い時間に凝縮しています。

磐田市ホームページ→スポーツ・みどころ→文化財→文化財について→無形民俗文化財

まだまだ続きます映像事業 速報 掛塚まつり みなさんに感謝

民俗文化財は、時代の変化の影響を受け、中には途絶えてしまい、その所作・形式さえわからなくなったものもあります。文化財課では、民俗文化財の記録化を進めています。今年は8月に「加茂大念仏」、10月に「掛塚まつり」の映像撮影に取り組み、多くの方からご協力をいただきました。スタッフ一同、感謝いたします。

今回は10月20日・21日に行われた掛塚まつりの一部を紹介します。

かんぶく～ 掛塚の皆さんに・・・

自慢の彫刻・屋台を保存するため屋台を分解し、部材を専用の箱に納め、蔵の中に保存します。祭の前になると町の人が総出で屋台を組み立て、祭が終わると解体します。作業中は手袋をし、部材（漆部分）に直接手で触れないような気配りも怠りません。地域全員で屋台の維持に取り組んでいる掛塚の人に感服・・・。



屋台の組み立て

情緒豊かに～ 祭の前のお囃子^{はやし}

例祭の一週間前の夕刻、会所や組上がった屋台の中でお囃子の練習が行われます。新町では、例祭前日の夕刻、笛・小太鼓・三味線で行列をつくり、道囃子^{みちばやし}を奏でながら町内を回ります。暗闇の中、提灯の灯で奏者の横顔が照らされます。静かな夜に、掛塚の町には情緒豊かなお囃子の音が響き渡ります。



新町の道囃子の行列（左：先頭 右：三味線）

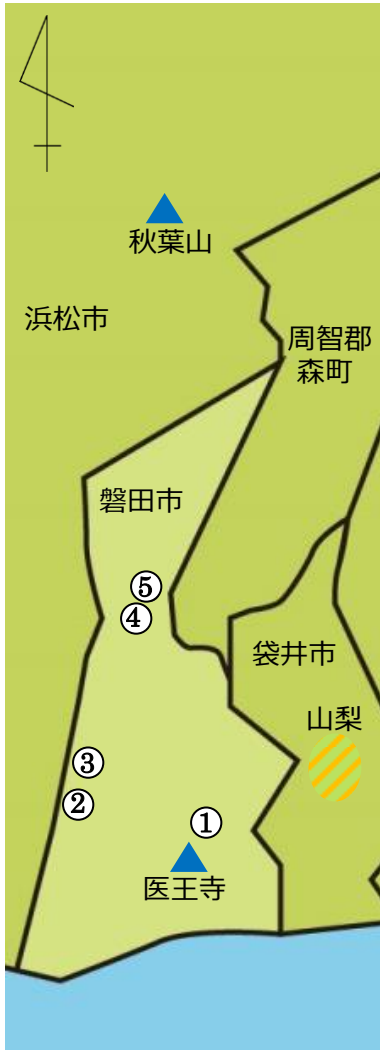
掛塚まつりの様子は、改めて報告する予定です。ご期待ください。

磐田の道標

(第1回/全2回)



路傍^{ろぼう}にひっそりとたたずむ石の道標。意外に知られていない道標にスポットをあてる2話完結の企画です。1回目は「信仰」をキーワードにして見てみましょう。



半僧坊、秋葉山、光明山…

参詣者のこころを慰める道標

江戸時代には一般の人々でも参詣という理由であれば旅行が許されました。そのため、お伊勢参りや秋葉参りなどが流行し、多くの人々が訪れることになります。

このような旅行者のために、各地で道標が設置されました。旅先で不案内な場所で道標を見つけた人は、さぞほっとした気持ちになったことでしょう。

三ヶ野台の「従是鎌田山薬師堂」は東海道沿いにあり、南側にある薬師堂（医王寺）へのルートを示すものです。弘化4年（1847年）の銘があることでよく紹介されているものです。池田・天白神社境内にある「半僧坊道」の道標は、市内では珍しく天竜石（緑色片岩）の大きな自然石に彫られた、味わいのあるものです。

また、市内には、秋葉街道を示す道標がいくつかありますが、中には石仏を兼ねたものもあり、信仰の心を今に伝えています。



三ヶ野台地内 弘化4年
従是鎌田山薬師堂



池田地内
右池田橋 笠井 半僧坊道



富里地内 明治3年
右もりやまなし
左あきはみち
3/4いわた文化財だより 第164号



敷地地内
右秋葉山 南見付
左作道



下野部地内
右秋葉山道

旧赤松家記念館で

「かすりの着物で写真撮影」「昔の遊びを体験しよう」

かすりの着物を着て、県指定文化財の赤レンガの門や塀の前で、明治時代の雰囲気が出る写真を撮ってみませんか？当日は、羽子板やコマなど昔の遊びも体験できます！

開催日:11月17日(土) **参加無料**

会場:旧赤松家記念館(磐田市見付3884-10)

対象:幼児～小学生

受付時間:午前9時30分～午前11時30分/午後1時30分～午後3時30分



かすりの着物を着用した様子

【注意事項】申込不要です。受付時間内に直接会場にお越しください。ただし着物の枚数に限りがありますので、当日の状況によってはお待ちいただく場合もございます。写真撮影は保護者の方をお願いします。

★皆さんが描いた旧赤松家記念館の絵も募集中です！
詳しくは、市ホームページ、文化財だより第163号をご覧ください。

問合せ:旧赤松家記念館(月曜、祝日の翌日休館)

TEL/FAX 0538-36-0340



職員リレー コラム

気になる“点”

中根 麻貴



京見塚公園内の1等三角点

最近気になる“点”があります。石や金属で出来ており、全国各地どころか海外にもあるという点、“三角点”(※)です。

磐田市にも数多くの三角点がありますが、1等三角点は市内に1つだけということで、最初に行ってみました。京見塚公園内の古墳の上にある『上野巳新田』という名の三角点です。

古墳の頂上、見晴らしのいい場所に気になっていた“点”がありました。「これかっ！」と見つけた喜びをかみしめつつ、三角点とそこから見える景色などを写真に収めました。写真を整理しながら点の名前についても気になりはじめ、調べてみたところ、『上野巳新田』はもともとは、江戸時代前期に成立した新田の名前ということでした。

見つけるのも楽しく、名前を調べてみても面白い、日本一高い場所にある三角点にも行ってみたいし、海外の三角点も見てみたい、“点”への興味がつきません。

(※)三角測量の際の基準点。また、基準点に設けられた方形の花崗岩あるいは金属の標識。1等から4等まであり、それらを結べば全国を覆う三角網となる。(広辞苑)

市内の三角点は、阿多古山一里塚、銚子塚古墳などでもご覧いただけます。

三角点は、学校などの公共施設や個人の土地など見学が出来ない場合があります。また、三角点を傷つけたり動かしたりすることは法律により禁止されています。

編集
後記

旧赤松家記念館で、フォトジェニックな写真が撮れるチャンス！羽子板で遊ぶ姿は年賀状にもお勧めです。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付3678-1 電話：0538-32-9699
◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田市 文化財だより](#) [検索](#)